



ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カバラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)

出席率: 会員 65名中 38名 : 先々週出席率: 92.42% (前年同期 82.35%)

今日のお花: ゴゼテチャ

ヴィジター: 三条北より 平松利朗君、梨本清一君

ゲスト: 三条建築組合長 登山道男殿

先週のメイクアップ: 5/30 三条北認証状伝達式へ 日戸会長、上木幹事以下40名

5/31 青少年交換委員会 長岡へ 堀川政雄君

会長挨拶: 日戸会長

6月30日(土)は、北クラブのRI認証状伝達式でありました。当クラブから多数ご出席して頂き、感謝申し上げます。皆様のお陰様を持ちまして、藤田ガバナー年度に新クラブ創立をみたことは誠にご同慶であります。旧来の型の懇親会に代る立食スタイルのフレンドシップタイム、ユーモアあふれるご来賓のご挨拶など、チャーターナイトの新型でありましょうか。スポンサークラブの当クラブに広沢純孝バスターガバナーから丁寧なお賞めの言葉を頂いた事をお伝えします。

先週末からエミー嬢は拙宅にホームスティしております。梨本さん、川又さんと五十嵐さんの後なので、日本語が上手になり、楽をしております。有難うございました。彼女はNTTの英語の吹込み、長岡市やその他近辺の高校にアメリカ高校生活の話をもって出張するなど、多忙の生活を送っております。

残念なことに、近藤与助会員が5月27日におなくなりになりました。6月1日のお葬式に当クラブを代表して弔詞を捧げて参りました。生前の御活躍をしのび、ご冥福を祈り、黙とう致します。

幹事報告：上木幹事

- 三条中央ライオンズクラブより 合同懇話会のご案内
6月26日(金) PM6:00~ 魚長
- ローターアクト委員長会議開催のご案内
7月12日(日) 高崎ターミナルホテル
- 三条北ロータリークラブより 例会変更のお知らせ
6月9日(火) → 6月7日(日)、8日(月) 親睦旅行
- 高崎北ロータリークラブより 地区協議会ご出席のお礼


6月のお祝い

- 会員誕生祝 6日 平原信行君 6日 石橋育於君 10日 杉野奎司君
10日 大塩淳二君 18日 高橋一夫君 24日 捧賢一君
夫人誕生祝 17日 岩井昌子さん 17日 大塩美子さん 26日 松川和子さん
27日 高森定子さん
結婚記念 18日 土田栄松君

吉田親睦委員

6月26日市内5クラブ合同懇話例会が三条中央ライオンズのホストで会場魚長に於て行なわれます。
会費は6,000円ですが、クラブより3,000円補助を致します。

ニコニコBOX ¥22,000



北クラブ

平松利朗君 } 認証状伝達式の御支援に心より感謝をこめて。
梨本清一君 }

藤田(説)君 三条北RCのチャーターナイトを祝して。
日戸君 北クラブのチャーターナイトの成功と、皆様の多数のご出席に感謝を申し上げます。

鈴木君 北クラブチャーターナイトの昼の部に出席させて頂き大変御馳走様になりました。

小林(英)君 三条北クラブの認証状伝達式の大成功をお祝いして。中条さん、梨本さんご苦労様でした。
ロータリーの友地区だよりP53~ご覧下さい。

波谷君 北クラブのチャーターに参加させて頂き、素晴らしいアトラクションも聞かせてもらい有難うございました。

松川君 今朝五時に家を出て、月岡山へ、ギフ蝶の幼虫を採りに行き戦果をあげて来ました。- 100匹

- 杉野君 近藤与助会員のご冥福をお祈り申し上げます。
春の消防演習が無事終了いたしました。
- 外山(雅)君 5月31日(日)に実施された三条消防演習で杉野消防団長の勇姿を拝見して頼もしく思いました。益々の御活躍を祈念してやみません。
- 横山君 年に一度の戦友会で焼山温泉に行ってきた。
榎本君 昨夜、新年度親睦委員会相集い、新年度計画を検討しました。
大変和やかで御協力をご感謝して!!
- 石橋君 6月1日は三条商業同窓会昭和62年度総会約500名近くの出席をいただき、盛大に行なわれました。幹事としての役割を果たし、ホットいたしております。
- 五十嵐(総)君 4月17日より5月30日迄エミーを引き受け、無事お役目をはたした気持で、ホットしました。次は日戸先生宅、よろしく願い致します。

卓話：木工建築の「今と昔」

取り分け目まぐるしい建築業界にあって、木造建築は大きく変わって来ています。
私は学校をみますと直ぐに親父の内弟子の形で家業に入り、私の体験として大きく役立っております中で、木造建築は勿論、建築そのものが大きく様変わりして来ますと共に、作業工程も電動工具の出現によって、これまた大きく変わって来ておりますし、職人の気質ですが、今の若い人達は訓練校に入って訓練生ということで、昔は徒弟制度でして、仕事をする上でその気質が大きく異なっております。

昔は大工をするのに10年経験をしなければ一人前ではないといわれ、穴掘り3年、釘打ち3年とあって、それだけでも6年掛かり、作料と云った賃金を戴くのも盆と暮れの小遣い程度で仕事を教えて頂くということが主眼で、仕事を覚えることが主体でした。今は訓練校と云う組織の中で、手とり足とりで教官から教えてもらう教育制度で、解からなければ聞けば良いと云った形で、昔は先輩の仕事振りを見て盗み取るの違いが、仕事に対する理解、熱意が薄れて来ているのではないかと感じます。

親方と弟子との信頼関係と、道具箱を担いで行けば仕事をさせてもらえると云ったものが、今は逆に仕事をしてやるとか、子方の方から親方にさよならすると云った風潮が見られます。

大工道具の改良も凄まじいものがあり、昔から手斧が仕事始めの道具としてあり、昔の旦那様方が普請の時に手斧や斧の音を聞いていると、心が休まると云われたことを聞いております

三条建築組合長 登山道男殿



が、今は全て電動工具で行なわれております。

私がまだ大工（九）までいかない大六か大七の時、当時の日当が1日500円位でありましたが、ドリル1台が2～3カ月の手間賃でなければ買えなかったのが、今は電動工具が当り前になり、100%と言っても良い程で、敷居などを削るサクリという仕事は、今の若い方に出来る方が皆無と言っても良く、匠といわれる職人芸といいたいでしょうか、芸術といいたいでしょうか、そういう方の存在の現象が薄れて来ています。

建物に於ては、三条にも本成寺という立派な建築物がありますが、だんだんと少なくなって来ておりますが、鉄筋コンクリートの建物は寿命が100年だと云われ、その例が新潟県庁であり、木造の建物は東大寺で代表されておるように、雨と湿気を気をつければ100年でも200年でも持つ良さが木造建築であると思います。

組合のことを申し上げますと、新潟県に大工と称される工務店は約1万5千軒ありまして、全国には55の支部があり、三条には210軒程あり、地域環境の中で下田村が1万3千人の人口の中で工務店が120軒あり、三条を含めた経済基盤の建築業の位置付けが農業の次が建築であると云われ、日本人と木材の出会いというものが、先人達の間で良さとなって、コンクリート造りは耐火とかそれなりの良さはありますが、木造の良さと言うのも見直されてよいのではないかと思います、三条の住宅産業に大きな努力をしなければならないと頑張っていく所存です。

次 週 例 会 6月10日 卓話 大谷幸平会員

次々週例会 6月17日
